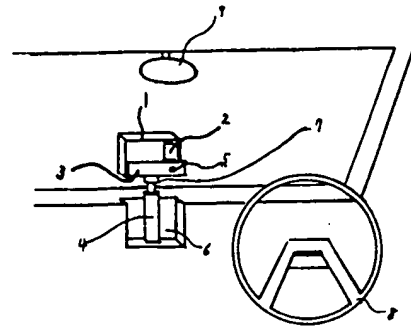


(54) CAMERA FOR CAR

(11) 58-78145 (A) (43) 11.5.1983 (19) JP
(21) Appl. No. 56-177472 (22) 4.11.1981
(71) BUHEI AKAHA (72) BUHEI AKAHA
(51) Int. Cl. G03B29/00

PURPOSE: To make snapshotting from a car easy and exact during driving by attaching a camera united with a subject screen, a universal device for deciding the direction, etc. to the car.

CONSTITUTION: A camera 1 stored in the storing box 6 of the driver's cab of a car is attached with an attachment 4 in-between, and the direction is decided through a universal device 7 by means of the handle 3 of the camera 1. By pushing the shutter switch 5 with a look on the subject screen 2, a snap can be taken easily and exactly from the car during driving or at the time of stopping.



⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭58—78145

⑤ Int. Cl.³
G 03 B 29/00

識別記号

庁内整理番号
6401—2H

⑬ 公開 昭和58年(1983)5月11日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 車輛用カメラ

⑯ 発 明 者 赤羽武平
上田市大字小泉

⑰ 特 願 昭56—177472

⑰ 出 願 人 赤羽武平

⑱ 出 願 昭56(1981)11月4日

上田市大字小泉

明 細 書

1. 発明の名称 車輛用カメラ

2. 特許請求の範囲

1. 車輛に装着し搭乗者の操作により作動し撮影することを特徴とする車輛用カメラ。

3. 発明の詳細な説明

この発明は車輛用カメラに関し、一層詳細には車輛を運転中または停車中に被写体に対し方向を定め、シャッターを作動し撮影する車輛用カメラに関する。

自動車または二輪車を走行中または停車中素早い天然現象、美しい風景、事故等にしばしば遭遇する。この場面を撮影したいと思つても走行中であり、カメラを持参していない等の事情で機会を逸してしまふ。運転者が携帯用カメラで撮影する場合は、道路に必ず停車しなければならないが、後続車の追突、交通事故や渋滞等の交通状態の阻害をもたらす。

この発明は上記の点に鑑みてなされたもので、その目的とするところは、瞬間的スナップ写真を見逃さず即座に撮影することが出来る車輛用カ

メラを提供するにある。

この発明を車輛用カメラとして実施した実施例を図面にもとづいて説明すれば次の通りである。

第1図示のものは、脚4にカメラ1を装着しスクリーン2により、被写体を捉え把手3を握り自在装置7により方向を定めシャッター5を押して撮影する。

この発明による車輛用カメラは運転者または他の搭乗者が簡単に操作し走行中でも撮影することが可能である。

カメラの取付け位置は車室内でも車外でもよい。車外で撮影する場合はカバーを掛けるか飛出し式にしてレンズ等の汚れを防止する。

ひき逃げ等の場合でも後続車、対向車がカメラに収めることによる事故の生々しい現場を写せるために事故現場の助かぬ証明となる。

車の事故ではパトカーや白バイの剋着がわづらわづらおびえ、また無知のたの真実がゆがめられる等の事態が多い。この場合関係者又は第三者のカメラによる撮影が可能であり真実が究明

される。

パトカー・白バイにカメラを装置し日時の自動記録を行えば、追跡の証拠となるために逃走されても後日検挙が可能であり、逃走車には他の犯罪等に関係する場合が考えられ、効果の大きさは計り知れず必要性が極めて高い。パトカーによる強込み等にも威力を発揮し、ビデオカメラで撮影すればより正確な現場再現ができる。赤外線による夜間撮影も可能となる。

パトカー・白バイはもちろん一般車にカメラが装置されていると、いつどこで撮影されるかわからないために、通り魔・金融機関等の犯罪抑制に特効がある。

車載用カメラを装置すれば必要とき、常時撮影可能で優れた機能性を発揮し顕著な効果を奏する、カメラを車外に飛出し式にすれば、走行中空気抵抗を防ぐことができ省エネルギーに貢献する。カメラは車載より取外すことが可能で必要に応じて使用にかなえられる。

車載用カメラ撮影時スクリーンを見易い位置に

8.....ハンドル、9.....バックミラー、
10.....車輪、

設置し、手の届きやすいところにスイッチを配し。

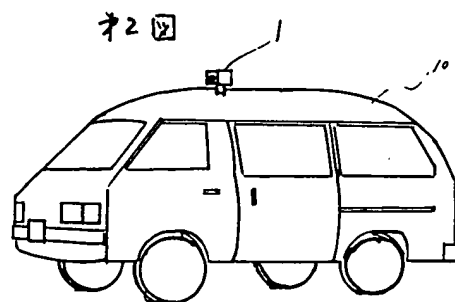
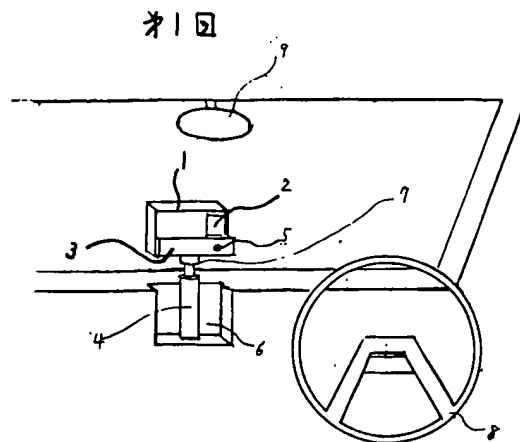
有線または無線による撮影も可能である。カメラにタイマーを取付け連続または一定間隔で撮影することもでき、搭乗者が車載を降りて遠隔操作を行うことができる。第2図のようにカメラを高い位置に設置すれば前後左右・上下何れの方でも撮影可能となる。不必要なときは第1図収納装置に収め走行する。

以上本発明につき好適な実施例を挙げて説明したが、この発明は撮影の機能性に重点をおき、車載によるパトロール・旅行・営業中・景観の撮影と追跡の必要以上の波帯、犯罪の偶発的または予知的撮影を可能にするために予防効果に卓効を奏する。

4. 図面の簡単な説明

図面は本発明の実施例を示し、第1図は斜視説明図、第2図は他の実施例を示す斜視図である。

1.....カメラ、2.....被写体スクリーン、
3.....把手、4.....取付器具、5.....シフトスイッチ、6.....収納装置、7.....自在装置



特許出願人

赤羽武平